

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
科目コード	NC320	科目名	介護実習指導Ⅲ			担当者名	棟方 ナナ子				
授業の概要	介護実習前の諸準備、注意事項、スーパービジョン等を行う。介護実習ⅠB、ⅡB、ⅡCの実施に向け、実習手順、介護過程展開方法、基本的な対人援助方法を学ぶ。										
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の目的・目標を理解できる。基本的な対人援助を実施できる。</li> <li>・介護過程を展開する際の留意点を理解し学んだことを実施できる。</li> </ul>										
DPの観点	②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力 ⑦主体性										
授業時間外学修(予習・復習)	自発的に施設ボランティア活動を行い施設理解を深める。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。										
フィードバックの方法	実習施設評価表の確認とそれに伴うスーパービジョンを行う。										
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの提出物を重視する。実習施設での評価を参考に定められた基準を満たすことが単位認定の要件とする。										
評価の方法・割合(%)	施設評価60% 授業内提出物30% 授業内活動10%										
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする 遅刻3回で欠席1回とする										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			実習意義と目的1 利用者の日常生活や生活環境を学ぶ	②	コミュニケーションカード
2			実習意義と目的2 疾病、障害に応じた支援を学ぶ	②	コミュニケーションカード
3			介護支援の特性 アセスメントの必要性を学ぶ	②	コミュニケーションカード
4			実習施設理解1 ゲストスピーカーの講話を聞き理解を深める	②⑦	コミュニケーションカード
5			実習施設理解2 ゲストスピーカーの講話を聞き理解を深める	②⑦	コミュニケーションカード
6			実習施設理解3 ゲストスピーカーの講話を聞き理解を深める	②⑦	コミュニケーションカード
7			実習Ⅰの理解 実習Ⅰの目的・目標を学ぶ	②	コミュニケーションカード 課題レポート
8			実習Ⅱの理解 実習Ⅱの目的・目標を学ぶ	②	コミュニケーションカード
9			実習記録1 記録の意義と必要性を学ぶ	②⑤	コミュニケーションカード
10			実習記録2 記録の種類を学ぶ	②⑤	コミュニケーションカード
11			実習記録3 記録内容・表現方法を学ぶ	②⑤	コミュニケーションカード
12			介護福祉士倫理 専門職の倫理と守秘義務を学ぶ	②⑦	コミュニケーションカード
13			オリエンテーション理解 オリエンテーションの意義と目的を学ぶ	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
14			カンファレンス理解1 カンファレンスの意義と目的を学ぶ	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
15			カンファレンス理解2 カンファレンスと多職種連携を学ぶ	②④⑤⑦	コミュニケーションカード 課題レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第10巻「介護総合演習・実習」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--